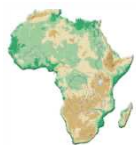


もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



月刊アフリカニュース

2014年 4月 8日 No. 9

次の国々の2014年2月月報をお送りいたします。

アンゴラ、
ウガンダ、
ルワンダ、

ボツワナ
SADC、
マラウイ、

南アフリカ
モザンビーク、
モロッコ、

アンゴラ月報（2014年2月）

主な出来事

【内政】

- 新関税の導入は3月へ延期
- 2017年までに11,000の小売店を設立
- ナミベ新国際空港が開港
- 2つの市場がルアンダ近郊に完成
- マネーロンダリング対策関連

【外政】

- CPLP 域内二重課税の回避に向けて交渉
- AUは全会一致でアンゴラの2014年安保理非常任理事国選挙立候補を承認
- 日本・カンボジア・アンゴラ経協関係
- 米輸出入銀、資金供与に意欲
- マネーロンダリング対策関連

【経済】

- 主要経済指標—物価、金利、為替
- 政府、2003～2009年のGDP成長率を下方修正
- 財政（非石油部門の税収増加）
- 石油・鉱物資源関連
- ダイヤモンド増産の見込み
- 対ポルトガル貿易赤字60%減
- 対中貿易額の減少
- 対中貿易額の減少
- インフラ・公共事業

http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201402angola_report.pdf

ウガンダ月報（2014年2月）

主な出来事

【内政】

- 3日、カダガ（Kadaga）国民議会議長のもとに届けられた封書が爆発。
- 3日－14日、与党NRM党大会がチャンクワンジ（Kyankwanzi）で開催。
- 10日、米国務省は、2月又は3月のカンパラにおけるテロ攻撃の脅威に関し注意喚起。
- 12日、UPDF が ICC 訴追対象のオドヒアンボ（Odhiambo）LRA 副司令官を射殺した旨発表
- 17日、予定されていたウガンダ国民IDカードの発行が4月上旬へ延期。
- 24日、ムセベニ大統領は反同性愛法に署名した。
- 26日、ムババジ首相は反ポルノグラフィ法を審議不十分として議会に差し戻した。

【外政】

- 3日、U 総会でクテサ大臣はアフリカ防衛軍に対し、900～1,500部隊を派遣する旨約束。
- 16日、南スーダン国防大臣が UPDF の南スーダン派遣の資金提供をしている旨暴露。
- 18日、クテサ外務大臣は、3月末までに UPDF を南スーダンから撤退する旨表明。
- 20日、第4回北部回廊インフラ計画サミットにおいて、北部回廊地域の単一査証が発行した。
- 26日、ムセベニ大統領は、カビラ・コンゴ(民)大統領に COMESA 議長職を引き継いだ。

【経済】

- ウガンダ政府、石油企業3社（タロー社、CNOOC社及びトタル社）と精油所及び原油輸用用パイプライン建設に係る覚書に署名。
- ウガンダ国税庁（URA）によれば、経済と消費の停滞により本財政年度前半期の政府収入は予定より2,460億シリング（約9,840万米ドル）少なかった。
- 汚職問題などを理由にドナーが4億2,820万米ドルの財政支援を停止したため、ウガンダ政府は今年度の国内借入を対GDP比0.7%まで増やす見込み。
- 反同性愛法の署名後、対米ドル為替レートは2450（買値）/2460（売値）シリングから2525（買値）/2535（売値）シリングとなり、大幅シリング安となった。
- 2月のインフレ率6.7%（前月6.9%）。

【経済協力】

- 中国輸出入銀行により融資されているカンパラ－エンテベ間高速道路建設（4億7,600万米ドル）は、予定施工スケジュールより14%程度遅れている。主な原因は用地取得の補償問題。
- カンパラ及び近郊の給水システム整備（7,200万リットル規模）の起工式が執り行われた。プロジェクトは欧州投資銀行、フランス開発庁（AFD）及びドイツ復興金融公庫（KfW）が融資。
- ノルウェー及びデンマーク、ムセベニ大統領が反同性愛法を承認したことを受け、それぞれ900万米ドル及び800万ドル分の支援を停止。

<http://ab-network.jp/wp-content/uploads/2014/03/8f1a6440cf1f7b2158def5614b4f98a4.pdf>

主な出来事

【内政】

- 2014年総選挙に向けて
 - (1) BDP, 3選挙区で予備選挙再投票へ
 - (2) 第2回有権者登録開催
- サレシャンドBCP党首、野党代表に
- 財務相、国会調査に関し国会議長を起訴へ
- 大統領、教育問題の調査を複数閣僚に命令
- 外国人在監者、ボツワナ政府を訴える
- ジュワネン市長、BDP加盟
- フランシスタウン西選挙区：嘆願書問題

【外交】

- ボツワナ、南スーダンを支援
- ジンバブエとの防衛合同委員会開催
- 大統領、野生動物違法取引国際会議に出席
- ボツワナ、北朝鮮との間で国交断絶
- 初・駐カリブ共同体ボツワナ大使の誕生

【経済】

- 経済指標
- 2014/15年度財政演説
- 2014年の成長見通し
- ダイヤモンド・セクター
- 電力セクター
 - (1) 電力不足問題の発生
 - (2) Leratla 鉱山の再稼働
- 農業セクター
- 牛肉セクター
- 水資源セクター
- 経済多角化政策
- ドライポート整備事業の遅延
- ボツワナ航空への支援
- 国内アルコール会社の経営難
- 新興国通貨下落の影響
- 南ア・石油価格の上昇による影響。
- 製造業の経営悪化
- 公務員の賃上げ交渉
- 貧困者支援に関する有益性
- 家計ローンの増加
- 新硬貨の導入発表
- ハボロネ市の予算配分
- 南アのSACU脱退の可能性

【経済協力】

- マイニング・インダバへの出席
- 一村一品運動の導入呼び掛け
- 草の根無償資金協力の署名式
- 草の根無償資金協力の引き渡し式

<http://www.botswana.emb-japan.go.jp/downloads/report/2014.02.pdf>

SADC 月報 (2014 年 2 月)

主な出来事

ボツワナ大 兼轄

【SADC 経済】

- 1 月 28-31 日、ボツワナのハボロネにて、WTO、UN 及び SADC 事務局の主催により、第 1 回貿易統計地域トレーニング・ワークショップが開催された。
- 2 月 3-7 日、ハボロネにて、AU-SADC 地域インターネット・エクステンジ・ポイント (IXP) 及び地域インターネットキャリアに関するワークショップが開催された。
- 2 月 5 日、南アのプレトリアにて、トリパタイト (COMESA-EAC-SADC) 地域における気候変動軽減に関する会合が開催された。
- 2 月 7 日に開催された SADC 税関協力サブ委員会において、セーシェル金融貿易投資大臣は、「セーシェル税関ビジネスフォーラム」を設置すると発表した。
- 2 月 6-7 日、ハボロネにて、第 11 回欧州開発基金プログラミング会合が開催され、EU による 2020 年までの経済協力について協議された。
- 2 月 14 日、ハボロネにて、SADC・ICP 対話プラットフォーム会合が開催され、SADC 事務局関係者、国際協力パートナーら関係機関が参加した。
- 2 月 14 日、EU は SADC 事務局に対して総額 12 百万ユーロの拠出を発表、ドイツ政府はドイツ復興金融公庫 (KfW) を通して、総額 480 万ユーロの拠出を発表した。
- 2 月 27 日、SADC 事務局にて、SADC エネルギー・テーマ別グループ会合が開催され、SADC 事務局関係者、国際協力パートナーら関係機関が参加した。

<http://www.botswana.emb-japan.go.jp/downloads/SADC-report/2014.02.pdf>

マラウイ月報 (2014 年 2 月)

主な出来事

【内政】

- 2 月 14 日、大統領選挙に向け立候補手続きが完了。
- 2 月 21 日、英ベイカーティリー社は汚職問題に関する法廷用監査報告書をマラウイ政府に提出。

【外政】

- 2 月 1~3 日、サーリーフ・リベリア大統領がマラウイを訪問、バンダ大統領と女性問題等協議。
- 2 月 10 日、リロングウェにて障害者についてのアフリカ首脳フォーラムを開催。

【経済】

- 2 月 4 日、トヨタ・マラウイは、事業開始 50 周年記念式典を開催。
- 2 月 7 日、北部カエレケラ鉱山にてウラン採掘を行っている豪パラディン社がウランの採掘の一時休止を発表。

http://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/20140320_malawi%20geppo.pdf

南アフリカ月報（2014年2月）

主な出来事

【内政】

- 2日、野党DA、Agangの協力決裂
- 7日、第5回総選挙日程、5月7日に決定。
- 13日、ズマ大統領の施政方針演説

【外交】

- 11日、ズマ大統領は、ブラザビル議定書調印25周年記念式典に出席するため、コンゴ共和国のブラザビルを訪問。
- 28日、マシャバネ国際関係・協力大臣は、CEAPAD IIに出席するため、インドネシアのジャカルタを訪問。

【経済】

- 南アの2013年通年での経済成長は1.9%の成長となった。
- 2013年第4四半期の失業率は24.1%。
- 小売業の成長は2013年12月、前年同期比3.5%。
- 南アフリカトヨタ自動車（TSAM）は10億ランドの投資を行い、南ア・ダーバンにて第11世代新型カロラの生産を行う。

http://www.za.emb-japan.go.jp/jp/downloads/SANews/February_2014.pdf

モザンビーク月報（2014年2月）

主な出来事

【内政】

- 22日、モザンビーク議会はレナモ提出の一連の選挙関連法改正案を全会一致で承認。
- 27日、フレリモ中央委員会第3回会合が開会し、同党大統領選候補者候補として新たにディオゴ元首相及びアリ前首相が加わった。

【外交】

- 20日、ポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）臨時閣僚理事会会合がマプトで開催され、赤道ギニアの加盟が承認された（正式承認は首脳会合で行われる）。

【経済】

- 17日、マプトにてムティッセ運輸通信大臣は蘭企業団一行との会合に出席し、鉱物資源輸送インフラ建設への投資参加を勧奨。

<http://www.mz.emb-japan.go.jp/seikei/2014/1402.pdf>

モロッコ月報（2014年2月）

主な出来事

【内政・政局】

- 経済・社会・環境評議会（GESE）事務局長の任命権
- ヒューマン・ライツ・ウォッチによる報告書
- 人民運動党（MP）の動き
- 国会秋会期の終了
- 「2月20日運動」3周年記念デモ

【外交・国際関係】

- モハメッド6世国王のアフリカ諸国訪問
- フランスとの外交関係上の軋轢
- イランとの外交関係再開の動き
- モロッコ外交アカデミー基礎課程の始業式
- アフリカ諸国との宗教分野における協力
- シリア難民
- 在トリポリ・モロッコ総領事館への襲撃（リビア大発電報第234号）

<モロッコ要人の外国訪問>

<外国要人のモロッコ訪問>

<http://www.ma.emb-japan.go.jp/pdf/seimugeppo/Seimugeppo201402.pdf>

ルワンダ月報（2014年2月）

主な出来事

【外政】

●4日、1994年のツチ族に対するジェノサイド関与の容疑で、シムピカングワ元諜報局高官の裁判がフランスで開始された。本件は、同国で行われる初のジェノサイド被疑者裁判である。

●18日、ドイツで行われる最初のジェノサイド被疑者裁判において、フランクフルトの地域高等裁判所は、ルワブコムベ元ムヴムバ郡長に対し、懲役14年の判決を言い渡した。

【経済】

●17日、ルワンダ政府は、インフラ事業及び証券市場活性化のため125億ルワンダフラン（約1,830万米ドル）の長期国債を発行する旨公表し、販促キャンペーンを開始した。

http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.2.pdf